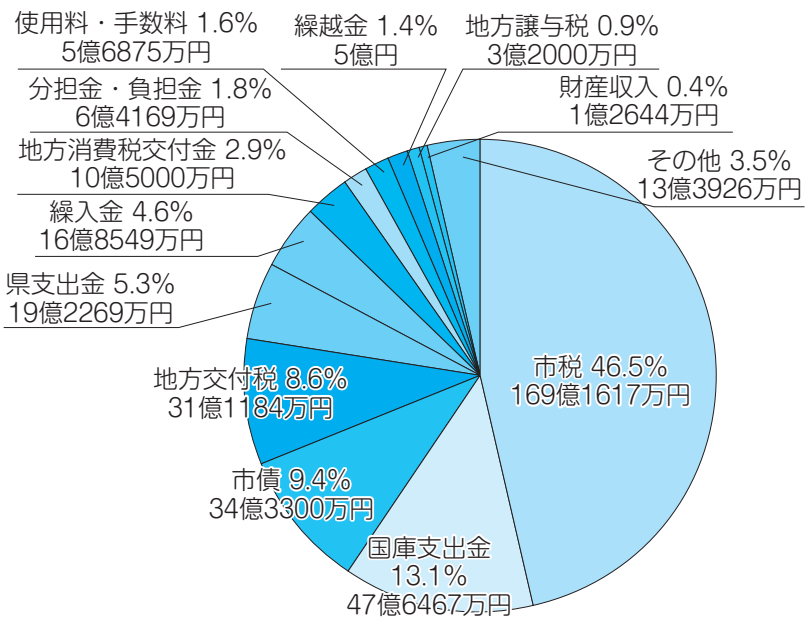
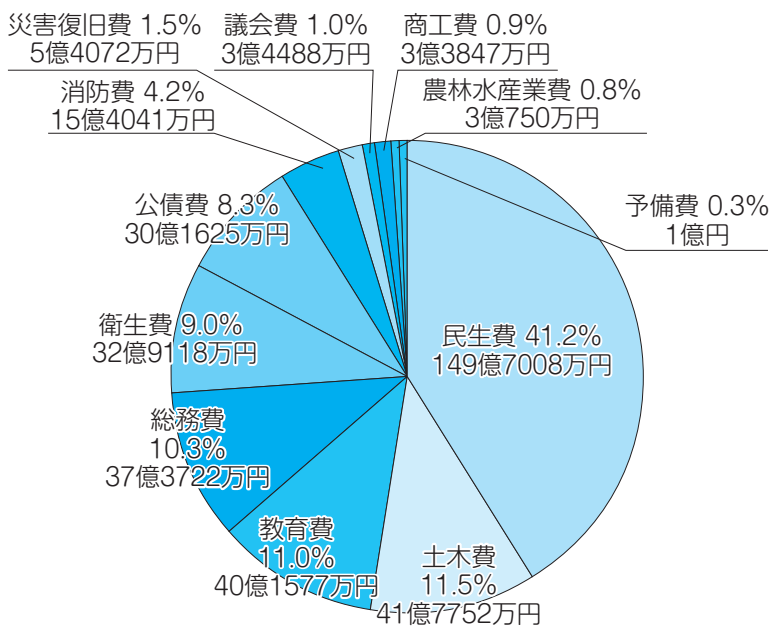


一般会計予算の構成比(グラフ)

歳入予算の構成(構成比順掲載)



歳出予算(目的別)の構成(構成比順掲載)



平成25年度 一般会計予算について

一般会計予算が前年度より増額となったのは、東日本大震災により甚大な被害を受けた布佐東部地区の復興事業費を当初予算に盛り込んだことや、小・中学校屋内運動場大規模改造事業費の増加、生活保護費や障害者介護給付費、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計等への繰出金など社会保障費全般が増加したことなどによるものです。

平成25年度は、復興事業として布佐東部地区に市営住宅の建設を行うほか、小・中学校5校の屋内運動場の耐震補強を実施し、平成26年度に全ての小・中学校屋内運動場の耐震補強完了を目指すとともに、福島第一原子力発電所の事故により発生した放射能への対策も継続して実施します。

また、新たな事業として

歳入 国庫支出金が減少し 繰入金が増加

特定不妊治療を受けた方に治療費の一部助成を実施するとともに、脳ドックを受けた方に対しても費用の一部助成を実施してまいります。

市の歳入の柱となる市税は、市民税が所得の減少や納税義務者数の減少などにより、前年度と比較して約1億2千万円減額となる見込みですが、固定資産税が平成24年度の固定資産評価替による下落が抑えられたことや大型マンションなどの新築家屋の軽減終了などにより約1億6千万円増額となります。たばこ税も県たばこ税の一部が市へ移譲されることから約5千万円増額となるため、市税全体では対前年度比1億802万円増の169億1617万円となり、扶助費の国庫支出金は、扶助費の増加に伴う生活保護費負担金や障害者自立支援費負担金などの増はあるものの、放射能対策経費の減少に伴い放射線量低減対策特別緊急事業費補助金が減となり、児童手当負担金も所得制限の導入により減少したため、総額で2億9586万円の減となっています。

歳出 復興経費の計上により 災害復旧費が大幅増

増加に伴う生活保護費負担金や障害者自立支援費負担金などの増はあるものの、放射能対策経費の減少に伴い放射線量低減対策特別緊急事業費補助金が減となり、児童手当負担金も所得制限の導入により減少したため、総額で2億9586万円の減となっています。

繰入金は、政策的事業に充てる財源を補うため、財政調整基金(年度間の予算の調整を行うための積立金)から11億6600万円の繰入を見込んでおり、各種特定目的基金や特別会計からの繰入と合算すると7億2970万円の大幅な増となっています。

市債は、昨年度は補正予算で実施した小・中学校屋内運動場大規模改造事業を当初予算に計上したことや、焼却灰を飛灰と主灰に分離するための廃棄物処理施設の整備、第四小学児童保育室の整備、手賀沼公園・久寺

家線道路改良事業費の増加などにより、2億9260万円の増となっています。

民生費は、児童手当が所得制限の導入に伴い約2億2千万円減額となっていますが、高齢者社会福祉施設の整備や私立保育園施設の増に増に加え、年々増加する生活保護費や障害者介護給付費、国民健康保険事業特別会計及び介護保険特別会計等への繰出金などの社会保障費全般が増加したことなどにより4億8018万円の増となっています。

衛生費は、廃棄物処理施設の整備や、原発事故対策として実施する民有地や私立高校・大学の除染費用の増加などにより4億4761万円の増となっています。土木費は、我孫子駅北口

平成25年度 水道事業会計 37億7857万円

25年度は、給水人口や給水量の減少が進むことによって、経営面での一層厳しい事業運営が見込まれますが、引き続き水道事業中期計画第Ⅱ期実施計画に基づき、主要な施設の更新及び耐震化事業を着実に進めます。また、新たに「我孫子市放射性物質除染実施計画」に沿った浄水場施設の除染や危機対応施策の一環として、災害事故対策の充実にに向けた取り組みにも着手します。

水道局経営課 ☎7184-0114

業務の予定量

区分	平成25年度予定業務量	対前年度増減率
給水戸数	5万1600戸	△1.3%
年間総給水量	1248万3000m ³	△4.1%

収益的収支(水道料金や水道水を届けるための費用)

会計名	平成25年度予算額	対前年度増減率
水道事業収益	24億4371万円	△2.0%
水道事業費用	24億488万円	△2.3%

資本的収支(水道施設の建設・改良にかかる収支)

会計名	平成25年度予算額	対前年度増減率
資本的収入	1159万円	△94.5%
資本的支出	13億7369万円	55.8%

平成25年度 特別会計 263億3000万円

特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入をもって特定の歳出に充てる独立した会計をいいます。我孫子市には4つの特別会計があり、平成25年度は4つの会計の合計で、総額263億3000万円です。

各特別会計の予算額は、下表のとおりです。

財政課・内線236

特別会計の予算額(金額順)

会計名	平成25年度予算額	対前年度増減率
国民健康保険事業	135億5000万円	1.9%
介護保険	76億円	6.7%
公共下水道事業	38億2300万円	△12.4%
後期高齢者医療	13億5700万円	0.4%
合計	263億3000万円	7.2%

今年度の市の借入れについて

小・中学校屋内運動場の耐震補強工事や放射能対策などの事業は、東日本大震災

第四小学校、久寺家中学校)の7教室改造工事の実施などにより1億5941万円の増となっています。

災害復旧費は、布佐東部地区で小規模住宅改良事業として5棟10戸の市営住宅を建設することにより4億2805万円の増となっています。

公債費は、臨時財政対策債の償還に係る支払元金の増加により1億6268万円の増となっています。

ただ、借金を減らすことも重要であり、最優先事業終了後から減らすことに努めてまいります。事業の実施について市民の皆さんのご理解をお願いします。